



# パズル道場 初級編テキスト 見本

この教材は『パズル道場』検定プログラムの抜粋版です



# <初級編>

小学校低学年～

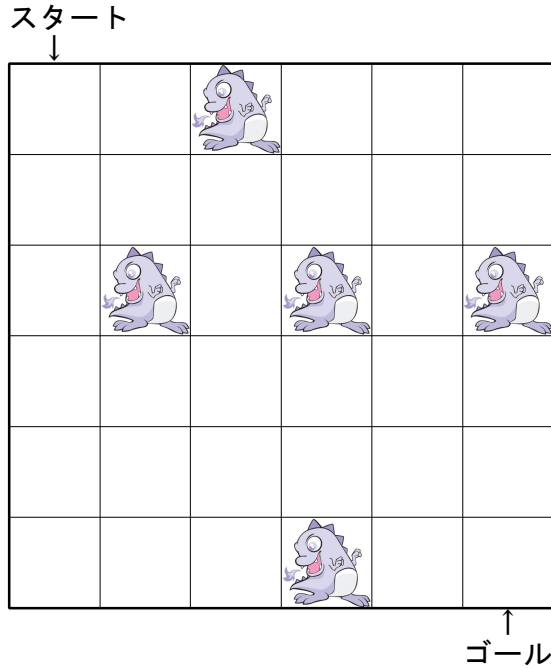
①	8級	道をつくる	3-①	.....	18
②	9級	推理問題①	3-①	.....	19
③	7級	推理問題②	3-①	.....	20
④	9級	点描写②	3-①	.....	21
⑤	7級	タイル①	3-①	.....	22
⑥	10級	積み木	3-①	.....	23

①～③は、仮説思考力育成



④～⑥は、空間把握能力（イメージ化能力）育成



※検定の制限時間は5分



----- ルール -----

- ① スタートからゴールまでの道順を記入します。
- ②  のいるマスは通れません。
- ③  のいないすべてのマスを通らなければなりません。
- ④ 同じマスを2回以上通ってははいけません。
- ⑤ 進める方向はたとえ横だけで、ななめには進めません。

解ければ天才!



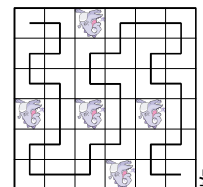
(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

----- 切り取り -----



**取り組みのポイント!!**

解答のような、まっすぐな線だけでなく構いません。  
かいては消し、かいては消しをくり返し、消しゴムのカスの山を作りながら、ねばり強く取り組みましょう。



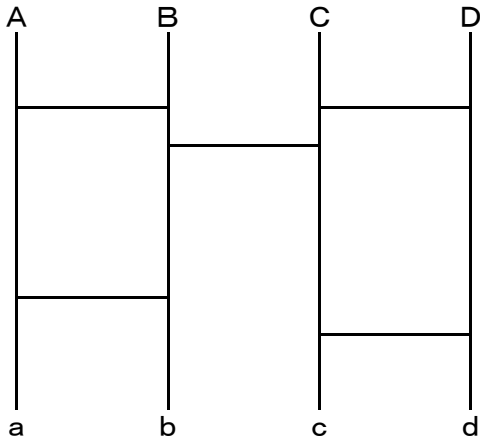
易 難



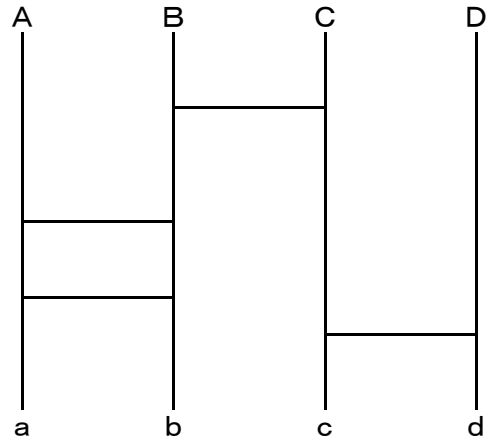
※検定の制限時間は5分

下の図のようなあみだくじがあります。Aがaへ、Bがbへ、Cがcへ、Dがdへ行くようにしたいと思います。  
指定された数だけ図の中に横線をかき入れなさい。

(1) (1本)



(2) (2本)



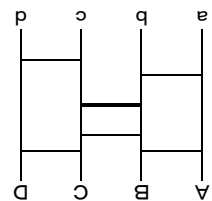
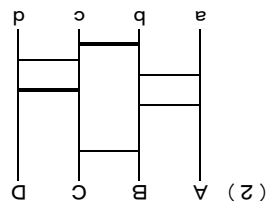
(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



**取り組みのポイント!!**

答えは1つとは限りません。  
苦手な人は、自分でいろいろなあみだくじ  
を使って遊んでください。



(1) 図景



※検定の制限時間は5分

(1)太郎君、次郎君、花子さんの身長をくらべました。

- ①太郎君は花子さんより低い。
- ②次郎君が一番高い。

身長が高い順にかきましょう。

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

(2)A君、B君、C君、D君の4人が50m競走をしました。その結果は次のとおりです。

- ①A君は、C君に負けました。
- ②B君は3位で、A君に勝ちました。
- ③C君は、1位ではありません。

1位から4位までの順位をかきましょう。

1 位		2 位		3 位		4 位	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



**取り組みのポイント!!**

普通の算数では、図のかき方を習い、それを使って解く練習をしますが、パズル道場はセンスをみがくトレーニングをする場所なので、この問題を頭の中だけで解けるようになることを目指します。ただし、最初はできませんので、他の項目と同様に、以下の順番でくり返しトレーニングしてください。

(パズル道場では、解くための図が実物の代わりとなります。)

頭の中→実物(図) →頭の中→実物(図) →...

(注) 検定試験でも頭の中だけで解きましょう。

ここでセンスアップをしておかないと、後で難しい問題が解けるようになりません。

(2) 1位...D君 2位...C君 3位...B君 4位...A君

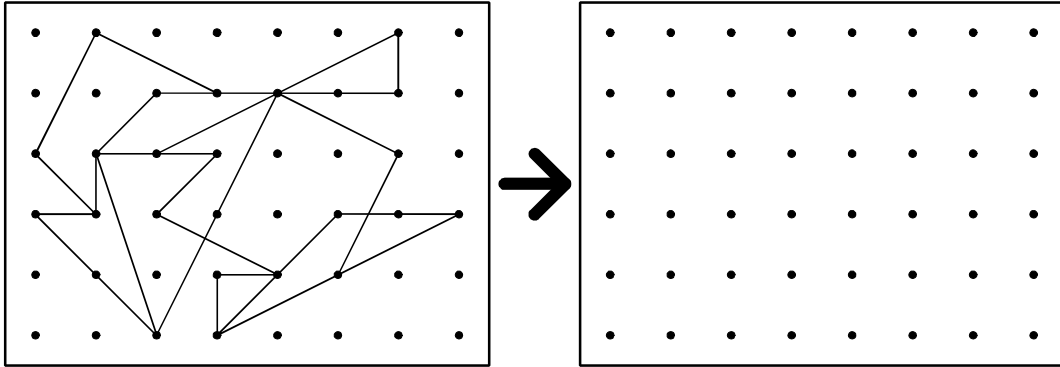
(1) 1番...次郎君 2番...花子さん 3番...太郎君



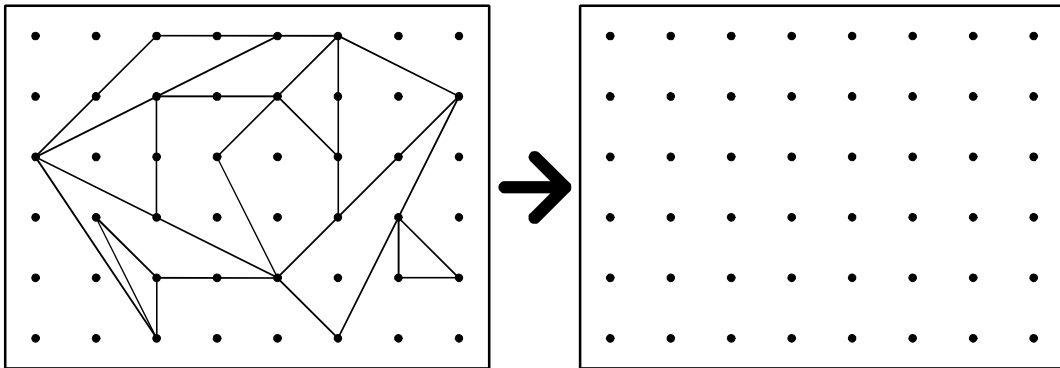
※検定の制限時間は5分

点をつないで、お手本どおりの形をつくりなさい。

(1)



(2)



(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



取り組みのポイント!!

線が曲がったり、点をはみ出しても構いません。(点をかすっているだけでOK!)

点と点がお手本と同じようにつながっていればOK! (だから定規は×です。)

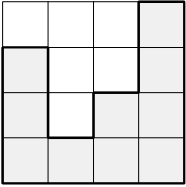
あとは、『いかに速く点をつなぐか!』です。



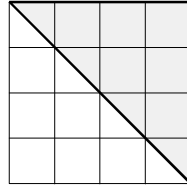
※検定の制限時間は5分

1 斜線であらわされた図形の広さは、タイル何枚分ですか。

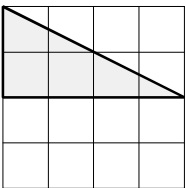
(1)



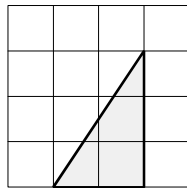
(2)



(3)

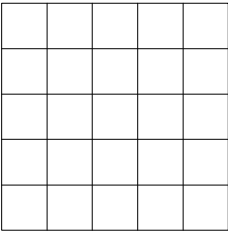


(4)

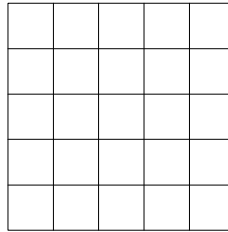


2 指示された図形をかきましょう。(斜線であらわしましょう。なお、斜線以外の線は、定規を使いましょう。)

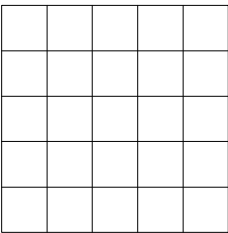
(1) タイル 10 枚分の直角三角形



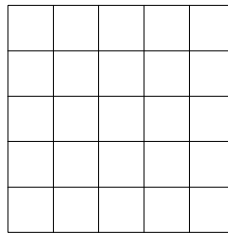
(2) タイル 6 枚分の直角三角形



(3) タイル 3 枚分の直角三角形



(4) タイル 8 枚分の直角三角形



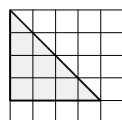
(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り

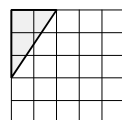


**取り組みのポイント!!**

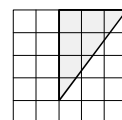
必ず例題の考え方で解きましょう。  
(今回は特別です!)



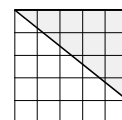
(4)



(3)



(2)

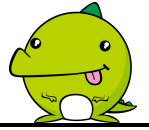


(1) 2

解答例

1 (1) 10枚分 (2) 8枚分 (3) 4枚分 (4) 3枚分

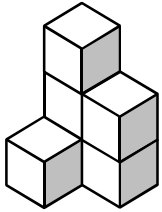
解答



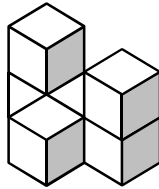
※検定の制限時間は5分

1 積み木の数はいくつですか。

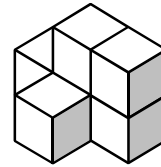
(1)



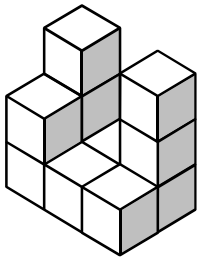

(2)



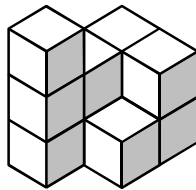

(3)



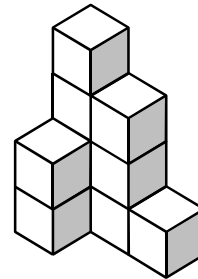

(4)



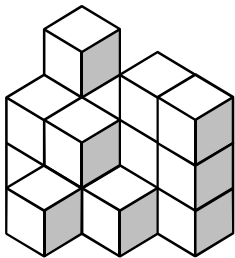

(5)



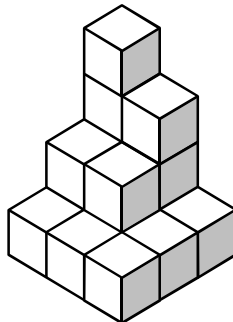

(6)



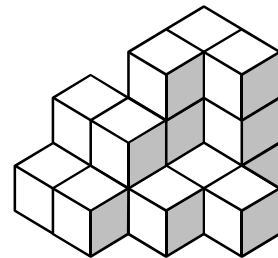

(7)




(8)

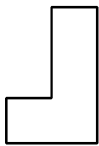



(9)



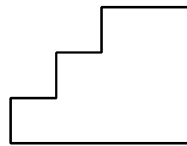

2 上記の中で、影の方から見た形が、次のようになるものを選んで番号で答えなさい。

(1)



→ 答え \_\_\_\_\_

(2)



→ 答え \_\_\_\_\_

(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



取り組みのポイント!! (1)について

頭の中で積み木を移動したり、分解したりして、数えやすい形にしてから答えを出しましょう。

積み木を1つずつ数えていたのでは賢くなれません。(センスが育成されません。)

実物→頭の中→実物→頭の中… をくり返していけば、いつか頭の中でイメージできるようになります。

頭の中でできないもの、答えが合わないものは、カラーキューブや積み木を使って確認しましょう。

6 (2) 1 (1) 2

8 (6) 9 (8) 7 (7) 0 (9) 0 (5) 1 (4) 9 (3) 9 (2) 9 (1) 1

1 1